

[08] radix : 九州大学全学共通教育広報

<https://hdl.handle.net/2324/20373>

出版情報 : radix. 8, 1996-03-29. 九州大学教養部大学教育研究センター
バージョン :
権利関係 :

radix

radix(ラーティクス)は、根、根源を意味するラテン語。ヒトの根源にまなざしを向け、豊かなこころの根を広げたい。

1996 4 . 8

九州大学全学共通教育広報 No. 8



「好きなもの」パステル画20号（16頁参照）

新入生の皆さんへ

大学教育研究センター長…押川 元重… 2

変化…工学部教授…酒井 嘉子… 4

卒業生シリーズ

私の迷い道…1970年入学…田尻 和子… 5

『九大のすべて』と友人たち…1969年入学…植木とみ子… 6

花の女子学生の皆様へ…1970年入学…北野 明子… 7

〈学生会館第31回文化講演会講演要旨〉 …… 8

こころの時代と人間関係

東京国際大学教授・慶應義塾大学教授 小此木啓吾氏
九大生の性別意識に関する調査について

「ジェンダーを考える」ゼミ生…10

ええ!! 樋井川をサグったの?

「樋井川を探る」ゼミ生…12

「あやしい音楽家」…工学部3年…前原 早苗…14

行く年来る年は…文学部2年…妹尾 弘…15

「好きなもの」…元教授…宮地 六美…16

3冊の本…大学教育研究センター長…押川 元重…17

〈新任教官自己紹介〉 ……山下 潤…17

六本松地区事務窓口案内…18

相談室一覧表…19

六本松地区教室・施設案内…20

諸手続一覧表…22

六本松地区 建物, 掲示板,
自転車・バイク置場 案内図…23

あとがき…24



新入生の皆さんへ

大学教育研究センター長 川 元 重

入学おめでとうございます。皆さんが学ぶことになる全学共通教育科目を担当する教師を代表して、お祝い申し上げます。

皆さんは、さまざまな期待をもって入学したことでしょう。そのなかには、大学でどのようなことを学ぶのか、どのような教師に出会うのか、どのような新しい友人ができるのか、といったものも含まれていることでしょう。期待をもつということは、変化があるということですし、変化するということは、いくらかの不安も伴うものです。大学での新しい生活にうまく適応できるだろうか、といった不安もあるのではないかと思います。そうした緊張の気持ちは、前進のための要因ですので、大切にしてほしいと思います。不安を解消するには、まずは一歩取り組んでみることです。取り組んでみると、心配していたよりも意外に容易なこともあるでしょう。取り組んでみると、思ったようにはうまくいかないこともあるものです。そうしたときは、続けるということを大切にしてほしいと思います。少し難しそうな本を読もうとしても理解できないため、読み続けることができないことも起こるでしょう。そんなときでも我慢して読み続けるならば、次第に読む能力が身に付くものです。学問にとって頭の良さよりも第一だという考えがありますが、時間をかけてその学問に慣れ親しむことのほうがもっと大切だと思います。高校での50分授業とは違って大学の90分授業にも積極的に慣れようとする気持ちをもつことが大切です。授業に集中することも、訓練によって

獲得できる大切な能力なのです。

最近のことですが、私は、卒業生の一人から、九州大学の卒業生であることをたいへん誇りに思っているという話を聞く機会をもちました。その方が勤めている企業において能力を発揮して優れた仕事をしている人々の中に、九州大学の卒業生がたくさんいるので、同じ大学を卒業した者としてうれしく誇らしいということでした。入社すると直ちにめばしい働きを見せる人もいますが、九州大学の卒業生にはそのようなタイプの人は少なく、周囲の人から認められるほどの能力を次第に発揮するようになる人が多いというのがその人の意見でした。このように九州大学の卒業生には遅咲きタイプの人が多いという評価は他でも聞くことがあります。九州大学の卒業生には、バランス感覚において優れた人が多く、それは大きな組織を運営していくうえでは大切な素質であると、先ほどの卒業生は付け加えました。こうした卒業生の意見は、教育に携わっている者に対する期待の表明でもありますので、身が引き締まる思いで拝聴することになります。それとともに、九州大学に入学した皆さんにはそのような期待がかけられていることを、ぜひ知って欲しいと思います。

どんな学問を専門に選んだとしても、学生の多くは、卒業後10年も経つと、仕事の場で管理的な立場に立つこととなります。そうなると、人間とはどのようなものか、どうあるべきか、文化は人間にとってどんな意味をもつか、社会の仕組みはどのように機能するか、科学技術はどのよう



に発展していくか、といったことに直接間接に関わる判断を問われることとなります。学問の進展はめまぐるしいものがあり、5年とか10年で大きく変化していきます。少なくとも学生の時に学んだ学問が、そのままずっと役にたつとは言えなくなっています。生涯学習という言葉もそのような状況を反映したものでしょう。学習は卒業で終わるのではなく、卒業後も学習を継続できるための能力を身に付けるような学習が求められています。また、多くの人が大学院に進学するようになっていますが、そうした場合、学部での学習を大学院での学習・研究にどのように結び付けていくかを考えていくことも大切になります。

この1, 2年間における情報ネットワークの拡大とその利用の拡大は、驚くべきものがあります。本学の情報処理教育においてもそれに対応して、ネットワーク利用を重視する方向で改善を進めることにしています。しかし、こうした状況は情報の氾濫や情報過疎などの情報利用のあり方を問う新しい問題を生み出しています。また、さまざまな分野における国際化が進展する一方で、地球環境問題の深刻化は進み、地域・民族間紛争に起因する戦争は多発し、核兵器や化学兵器の開発はさらに進められようとしています。バブル崩壊にともなう日本経済の低迷は続き、深刻な就職難を生み出していますし、変化が激しい時代の特徴として思いもかけないような事件や事態が次々に起きています。こうして現実世界に生起するそれぞれの課題を一人の力だけで解決することはできませんが、皆さんがそれぞれの立場でどのように課題解決のために貢献できるかを、大学での学習を通して追究することが期待されています。

大学では専門分野を定めて学習することをその特徴としています。そうした専門分野の学習に並行して、自らの専門分野を他の分野や社会との関連のなかで位置づけること、自らの関心の幅を広げること、専門分野を学習するための基礎的な能力を身に付けること、個性ある能力を身に付けるため個性ある学習をすること、などが必要であり、その

ために全学共通教育科目が設けられています。全学共通教育科目の授業は、本学の総合大学としての特性を生かした質の高い教育を実施することをめざして、すべての学部・大学院研究科の教官が担当することになっています。したがって、皆さんはさまざまな学部・大学院研究科に所属する教官が担当する授業科目を履修することになります。授業担当教官はその専門分野もさまざまですし、その個性もさまざまです。大学の教師は、学生の自主性を尊重するために、不要な口出しを避けますが、学生の積極的な学習を支援したいという気持ちを持っています。皆さんは入学して1年ないし1年半の期間を主に六本松地区で履修することになります。その期間中は、クラスごとに所属学部の教官と六本松地区に研究室を置く教官とが組になって学生の相談に当たるクラス指導教官の制度が設けられています。何か疑問があったり、問題が起こったときは、クラス指導教官を訪ねることを勧めます。クラス指導教官や授業担当教官、さらには、学生指導教官やカウンセリング担当教官は、皆さんが訪ねていくと、きっと話相手や相談相手になってくれることでしょう。

出発して3年目を迎える全学共通教育については、その教育内容や方法の一層の改善をすすめるための努力を継続しています。そのために学生の皆さんの意見を聞くことも積極的に行いたいと考えていますので、アンケート調査などへの協力をお願いします。また、本学はキャンパスの統合移転計画をすすめており、そのため六本松地区などの施設の新設がストップしており、他方では大学院生数の増加もありますので、施設条件の改善が困難な状況が続いています。そうした中で、学生の皆さんにはできるだけ不便をかけないように努力しているところです。

皆さんが、学習において、サークル等の自主活動において、教官との交流において、交友関係において、エネルギーで充実した大学生活を送ることを切望します。





変 化

工学部応用理学教室

教授 酒井 嘉子

私は1979年4月から2年間カナダのアルバータ大学に留学の機会を与えられた。この2年間は、好きな研究をやること以外には何の義務もない、最高に幸せな日々であった。あれから、あっという間に15年が経過したが、この15年間の日本社会の変化にはめざましいものがあった。その1つはコンピューターの発達である。私の専門は分子物理学で、コンピューターを使って分子の電子状態を計算し、分子の中を探究するのであるが、当時の日本のコンピューター環境は劣悪で、私の研究費は1分間いくらと決められた使用料にたちまち消えてしまうので、やりたいと思う計算もままならなかったが、カナダではコンピューターを駆使して、思う存分仕事をする事が出来た。その後、日本のコンピューター事情は急速によくなって、今ではアルバータ大学のそれを追い越したのではないかと思う。

カナダには世界中から様々な人種が集まっているが、その平和な共存はまことに心地よい。滞在中に1つだけ大学院の講義を受けてみたのだが、10名位の受講生の国籍が8種類もあったのには驚いた。外国人のために大学院教育をやっているようなものであり、その懐の広さに感心してしまった。最近、日本でも留学生の受け入れが増えてきたが、カナダやアメリカにならって、世界の若者達の教育と研究にもっともっと貢献していかなければと思う。

大きな変化の2つめは、女性をとりまく環境である。はじめて海外に暮らした私は、女性が社会のあらゆる場所で重要な役割を果たしているカナダの社会に感激してしまった。州議会の議長を堂々とやっている女性、テレビのニュース解説をする女性、テレビのドラマでも女性弁護士や医師などが、男性と同じくらいの頻度で活躍し、家庭では夫と妻が同じくらい料理をし食器を洗う光景が描かれていた。

15年前に私がカナダで感激した光景の幾つかは、既に日本でも実現した。土井たか子さんが国会で議長を務め、テレビドラマにも女性の弁護士や医師が活躍するようになった。女性の大蔵大臣、国会議員、市長、小・中・高等学校の校長先生等々、数においてはまだまだ微々たるものであるが、それでも山は動きはじめた。

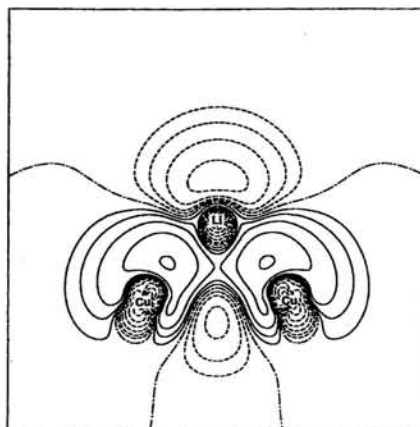
3年前の夏に久しぶりにアルバータ大学を訪問し、かつての共同研究者K氏の自宅に招待された。彼の妻は美術系の大学院を出て専門的な仕事に就いており、共働き家庭である。その日は、大学から彼と一緒に家まで歩いたのであるが、まず、レンタル屋さんへ寄って4歳の娘さんのための絵本とビデオを返却・借用し、次にスーパーでその日の

料理の買い物をして自宅に着いた。台所では夫妻で仲よく5種類くらいの珍しい料理をつくってくれた。私も台所でレシピの解説を聞きながら料理を楽しむ彼の姿を頼もしく眺めた。彼は、「僕が料理している所を写真に撮って日本の男性たちに見せてあげなさいよ」などと冗談を言いながら良き夫ぶりを発揮した。

一般にカナダの家庭では、家族が揃って夕食をする。日本では、つくるのに時間をかけてあっという間に食べてしまいが、あちらでは、さっとつくって、おしゃべりしながらゆっくり時間をかけて夕食を楽しむ。ひとりぼっちで食事する個食化が進み、家族の団らんが少なくなった日本の状況を思うとき、カナダの家族の方が本物の家族だと思う。女も外で仕事を持つけれど、男も家事や育児を分担し、両親揃ってしっかり親としての役割を果たしているのである。

最後に、明るいニュースをひとつ。日本物理学会(会員約1万8千人)の次期会長に米沢富美子さんが選ばれた。また、昨春から日本地震学会(会員約2千3百人)会長として石田瑞穂さんが活躍している。これまで男性の学問分野とされてきたこれら2つの学会の会長に女性が選ばれたことは、女性の進出を象徴する出来事として、私たちに大きな励ましを与えてくれる。ちなみに、米沢さんは3人のお子さんの母親であり、1人の男性の妻でもある。

思いかえすと、この15年間でも大きな変化があったが、これからの15年間にどのような変化があるか楽しみである。



固体の銅(Cu)表面にリチウム(Li)原子が吸着したとき、LiとCuとの間の電荷分布が増加して化学結合が出来ている様子をみたもの。実線は吸着によって電荷が増加、点線は減少したことを表す。



私の迷い道

弁護士 1970年入学 田尻和子

私が入学したのは1970年。70年安保の余韻が色濃く、六本松の教養部には立て看板が並び、ヘルメットをかぶった学生が行き来し、授業もしばしば休講になるなど学内は騒然としていました。私は自然と関わりを持った仕事をしたいと、中学時代から希望していた九大農学部に入学したのですが、その喜びも束の間、クラス討論会や学生大会での激しいやり取りを目の当たりにして、それまでボーッと暮らしてきた私は生き方を否定されるような衝撃を受けました。そして何か具体的な目標がなければという不安感もあり、アメリカで大企業相手に戦っているラルフ・ネーダーという弁護士がいることを知ったのをきっかけに、司法試験を目指すことになりました。

「なぜ農学部から司法試験を？」と必ずと言ってよいほど聞かれます。当時農学部の魅力が見出せなかったというのが素直なところですが、今は改めて農学部の幅広さや面白さを感じ、もっと勉強しておけば良かったと思っています。例えば、鶏糞処理場の公害問題やゴルフ場の農業問題、ゴミ処理場の問題などに弁護士として関与することがあり、鶏糞処理場に高度のアンモニアを分解するための微生物を利用した装置を作ることで住民側と企業側の和解に至ったこともあります。また農政経済の中で学んだ協同組合論なども農協関係の仕事に関わるときの視点となっています。

せっかく始めた司法試験への挑戦でしたが、在学中は他にもやりたいことが山ほどあってなかなか本腰が入らず、1年留年して卒業。「一度就職してみよう」という気になり、裁判所職員になりました。学生気分が抜け切らず、遅刻の常習犯だったため、初ボーナスの日には係長が目覚まし時計を私の名前で注文される始末。私が上司の立場だったら、まさしく「ジャジャ馬ならし」で骨が折れたことと思います。2年間の公務員生活で、組織の中で働く楽しさや安心感の反面大変さも分かり、このままでいいのかと迷いが出始めました。

そんなとき、ある人から「一度山を登り始めたら、頂上まで登って見ないと次の山は見えない」と言われ、司法試験に的を絞るため25歳のときに裁判所を辞めました。既に司法試験を目指していた友人の大半は合格し、あるいは結婚した人もあり、私には後のない選択でした。

それから2年後に合格するまで、本当に必死で勉強しました。弁護士という仕事がどんなものか、その時は分かりもしませんでした。合格したときはとにかく目指した山を登ったという嬉しさでいっぱいでした。今から考えれば

若いときの2、3年なんて何でもないように思いますが、当時は出口の見えない真っ暗なトンネルを一人で歩いている気持ちでした。行き当たりばったりの20代でしたが、自分が納得できるものに出会うまでは必要なプロセスだったのでしょう。

現在、私は熊本で弁護士事務所を開業して14年目になります。熊本県にいる107人の弁護士のうち女性は6人で、まだ稀少価値という面もありますが、仕事の内容は離婚などの家族問題に偏りがちです。その他、医療過誤事件や環境問題、消費者問題というマイノリティの側につく仕事が主流です。仕事をする上で一番大切なのは、弁護技術や法的知識よりも、人間同士の関係です。仕事も人とのネットワークによって広がっていきます。産前産後の休暇もなく、収入の保証もなく、自分の判断と処理のすべてに責任が生じます。弁護過誤の保険に入っても失敗したら信用は一挙に失ってしまいます。甘えは全く許されません。時には責任の重さにつぶされそうになりますが、時代を反映する様々な事件に接し、仕事を通じて考えさせられたり、人との新しい出会いがあったり、勉強して得ることの喜びは格別で、この仕事に感謝しています。

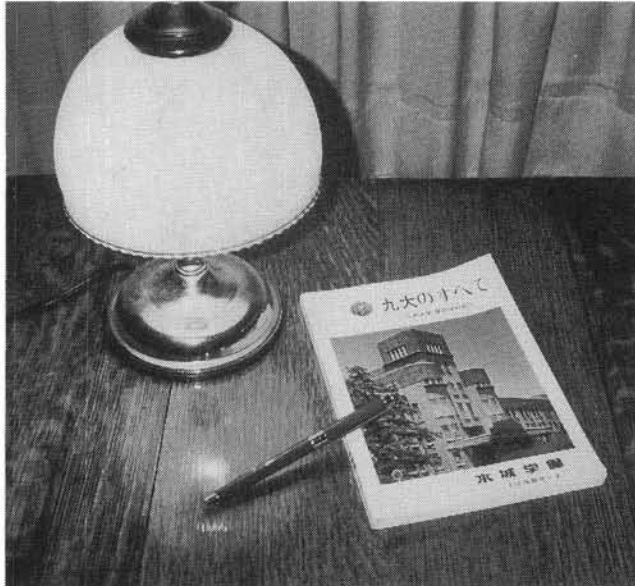
医療の分野では「自己決定権」という言葉がクローズアップされてきています。他人との比較の中で生きるのではなく、自分の納得行くよう自分で決めるという訓練は充実した人生の必要条件のようです。





『九大のすべて』と友人たち

福岡市民生局福祉部長 1969年入学 植木 とみ子



16年前のちょうど今ごろ、私はカメラマンと2人で、散り残った紅葉が揺れる九大キャンパスを歩き回っていました。青春の十年余を過ごした九大を離れるその年に、フトしたきっかけで、九州大学を紹介する冊子の編集に手を染めることになったのです。なんの手本もない、もちろん本作りなんて初めての経験で、どこからどうして手をつけてよいのやら、まったく見当もつきませんでした。

ともかく夏の暑い真っ盛り、各学部の大学院に残って研究を続けている友人を訪ね、協力を依頼して回りました。幸いどの学部にも心強い助っ人がいてくれるものです。学部全体に通じている人、さらに特色のある学科を2つずつ選んで、これを分かりやすく興味をそそるように紹介してくれる人、都合1学部3名の割合で原稿をお願いし、さらに教養部は在籍中の6人に座談会形式で登場してもらったりして、全部で40名にものぼる人たちの協力を得ることができました。

原稿が集まった段階で、それを読み易いものにするためイラストをいれたり、図表を作ったり、まるで手探りでした。その学部の雰囲気やよりよく伝えるためには、写真をふんだんに使いました。水工土木学科の波の進行実験だの、農学部の附属農場だの、文学部の考古学陳列室だの、10年以上大学にいて初めて目にするものもたくさんありました。極め付けは各学部の扉の写真。なにしろ顔になるところですから、それぞれの学部の特徴が凝縮しているような場面を捜して、カメラマンとそれはそれは歩き回りました。や

はり法学部は法学部らしく権威的な、理学部は理学部らしく整然たる、そんな雰囲気があるものです。

ある友人はメスを持つその手で丁寧な原稿を書いてくれ、ある友人は複雑この上もない機械実験を再現してくれ、また別のある友人は雰囲気を出すために快く写真のモデルになってくれました。そんなすばらしい友人たちの協力で、『九大のすべて—九州大学学部学科紹介』は出来上がったのです。一般の書店にも並べられ、評判もそこそこ良かったので、あるいは皆さんがたの中には、この本を読んで九大を志望してくださったという方もいらっしゃるかもしれません。そしてその協力してくれた友人たちは、今はそのまま九大に残ったり、また九州はじめ関西、関東、あるいは北海道にまで散らばって、それぞれの大学の中核的な研究者として活躍中です。

じつは私もこの作業の進行中に、長崎大学への就職が決まり、11月には赴任しました。そして十年余、この間もちろん教官として私の持っているすべてを学生に伝えるよう努力しましたが、他方常に先鋭的な研究者であるように、母校での研究会には欠かさず参加していました。もっとも有難かったのは、恩師有地教授（現名誉教授）を中心とする文部省科学研究費補助金研究で、全国の数十名に及ぶ共同研究の事務局を任せられたことです。九大法学部の中に事務室を提供していただき事務員をおいて、約5年間、私は長崎大学との間を往復しました。この過程で、私は私自身の研究を大いに進めることができたのは勿論のこと、全国の研究者とも深い信頼関係を築くことができました。また付随的な効果ではありますが、『九大のすべて』を企画編集したその経験の上に、さらに事務的能力も多少開発することができたのでした。

さて、5年前私は研究生活から離れ、現在は福岡市役所で行政官として仕事をしています。幸いに自分の理論を実践できる立場に置かれているので、これまでの研究が役立っています。それと共に非常に大切にしているのは、学生時代や研究者時代に培った幅広い人脈です。常にこの大勢の人のネットワークと知恵が私のバックボーンになっています。そのほかにもこれまでの様々な付随的な仕事の経験も活かされています。いま思うのは、これまで与えられたチャンスをせいっぱい自分のものにして良かったなあということです。そしてこれから先も、さらにいろいろなことに積極的にチャレンジして、より自分を広げていこうとも思っています。



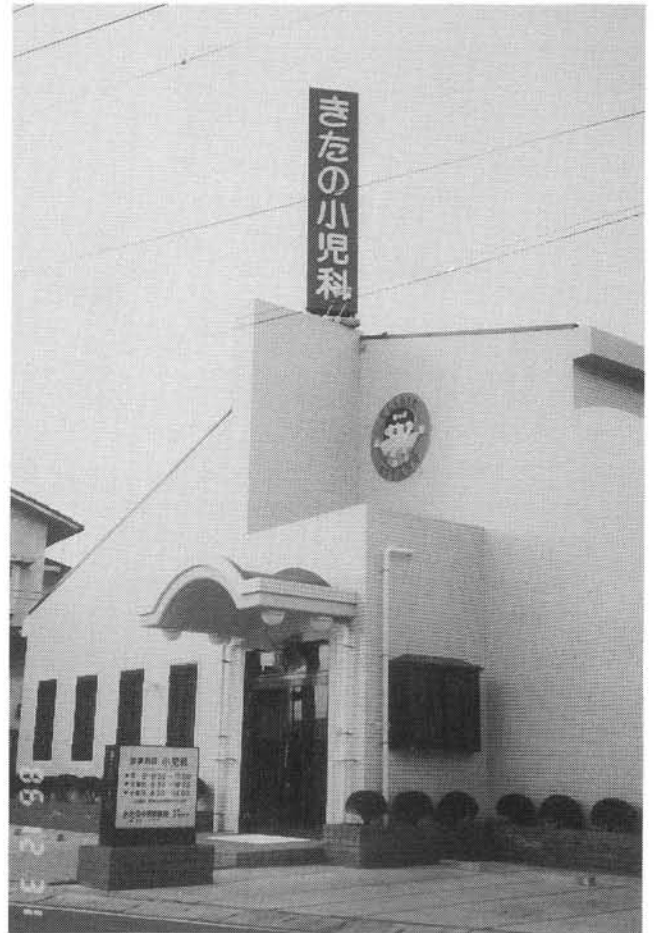
花の女子学生の皆様へ

小児科医 1970年入学 ^{きた} ^の ^{あき} ^こ
北野 明子

今毎日子どもたちに囲まれて楽しく過ごしております。高熱や脱水でぐったりし、機嫌が悪かった子供達が治って何事もなかったかのように片言をしゃべり、笑顔を見せてくれるたびに小児科医になってよかったとつくづく思います。若いお母さん方の子育ての悩みや家庭内のいろいろなストレス、特に、働く女性の子育ての大変さは、経験したもの強みでしょうか、理解できますし、男性の先生方よりは実際に即したアドバイスが出来ていると自負しております。また、お母さま方（最近の土曜日は週休2日の為か、お父さま方も多いようです）が同性だからでしょうか、話しやすく結構何でも相談される方が多いようです。ささやかではありますが地域に密着した小児医療を実践していると自己満足し、いきがいを感じております。

今年は女性の就職難だと報道されるたび、立派に頑張っている女性が多いのにと悲しくなります。大学卒業まではほぼ男女平等に勉強し、受験も勝ち抜いてきているのにここに来て、この壁のなんと厚いことかと考えさせられてしまいます。医学の道は頑張れば結構ひらけているのですが（昔のいわゆる女医さん達は大変苦労されておられ、現在活躍なさっていらっしゃる方々は優秀なばかりです）、それでも医局選びや大学院進学や大学の医局に残ろうとするときなど、男性に比べハンディがあると思われま。独身のうちはよいのですが、結婚をしたり子供が生まれると、暗黙の了解のうちにある性別役割分担のために、一挙に家事や育児の負担が女性にかかってしまうことがよくあるからです。仕事にいきがいをもって続けていくには、よき理解者となるパートナーを選ぶことが何よりも大事だと思います。また、学生時代や結婚する前には、したいと思うものにどんどんチャレンジし、仕事や学問の上で自分を確立しておいたほうが余裕をもって仕事に子育てに家事に臨めると思います。

子育てがうまくいかなかったりすると、つまり子供が登校拒否や非行、あるいはおちこぼれたりしたときなどは、なぜか働く女性だけの責任のように、お偉い教育界の方や医学界の方までもが言われます。三つ子のたましい百までとはよくいったもので、2-3歳の幼児の環境はその後を決定していきます。しかし、その責任は夫婦で共同でもつものだと思います。子供が小さいときは、夫婦ともに仕事の上でも未完成で自由のきかない立場にあることが多く、保育園にまかせっきりで、あまり考えることもなく忙しくすごしてしまいがちです。これは私の子育ての反省をこめ



て書いているものです。しかし、毎日、終園ぎりぎりの保育園のお迎えや、当直のときの子供の預け先のこと、ふいの発熱のためのお迎えやその後の預け先の問題、学会出張や会合参加のときのことなどいろいろありましたが、お母さん学の大事な小児科医にとってはよい勉強になりました。多分子供達にはいい迷惑だったことでしょう。

医学部の女性も年々増加していて、私どものときには10%でしたが、あと30年もすれば40%になると言われています。今よりはきっと働きやすい時代になっていることですが、なんといっても束縛の少ない（仕事面や、家庭の事で）のは学生時代です。この自由なときに、よき友人とめぐりあい、よき書物に出会い、なんにでも果敢に挑戦して下さい。若いときはもう二度と戻ってきません。こんなことをいう私はもう歳ですね。平均寿命までまだ大分ありますので、今後、皆さんや優れた諸先輩に負けないよう、中年パワーを発揮し、奮起していきたいと思っております。

学生会館第31回文化講演会：1995年11月18日(土)

こころの時代と人間関係

— シゾイド人間のゆくえ —

講師：小比木 啓 吾 氏

講師のプロフィール

1930年 東京に生まれる。慶應義塾大学医学部を卒業。東京国際大学人間社会学部教授、慶應義塾大学教授、世界乳幼児精神保健医学会副会長など要職を兼務。(精神医学、精神分析学)
著 書 「家庭のない家族の時代」「シゾイド人間」「自己愛人間」「現代人の心理構造」「対象喪失」など多数



今日は私がシゾイド人間ということで提出しました人間論のその後のゆくえというところをお話いたします。精神医学や精神分析にはシゾイドという言葉がありまして、ある種の人間のタイプを表します。どういう人かといえますと、非常に内向的で、興味関心が自分の心の内のことに向かう、空想や幻想の中に閉じ込めやすい人で、あまり人間関係が濃厚ではありません。シゾイドの人は客観的に目の前で起こっていることよりも自分の主観的な現実の方を優先するタイプです。たとえば、自分の中であの人が好きと思う気持ちの方が、実際のその人との関わりという客観的な現実よりも優先される。

現代人をみると、この傾向はみんな持っています。たとえば、毎日テレビで出会う貴乃花や宮沢りえがどうかするとけっこう大騒ぎしますが、一方で、同じ職場のすぐ近くで現実と接している誰かさんが結婚しているのか、独身なのか、あまり関心がないという生活をしている人が意外と多いと思いませんか。メディアと自分だけの主観的な現実の方が客観的な人間関係よりもずっと比重が重い。そこで、こういう性格をもとに現代人の心を見ると、一見現代人は陽性で調子がよく社会的で、みんなとワーワーやっているんだけど、案外心の中にはこのシゾイド心性と共通したものがひろがっている。そういうことを指摘したのが私のシゾイド人間論なんです。

また、シゾイドの人は社交性がなく、人間関係が非常に希薄です。本当の意味で人と人の関係に深く入っていかないんですね。それが一つの特徴なんです。最近の若い世代の中にはこういった人と人の関係を濃厚に持つことがどうも苦手だ、という人が微妙に増えてきているように思います。たとえば学生さんに、そばにいつもいる友だち同士がいるから、その友だちにちょっと連絡してくれと言いま

すと、意外にその友だちがどこに住んでるかなどあまりよく知らない。その場その場では同じ教室にいるから何となく親しくしているが、それ以上に親しくはならない、というわけですね。そういう所になら彼らは気楽に安住できる。これがシゾイド心性でして、かつてリースマンが群衆の中の孤独ということを行いました。今日まさにその群衆の中の孤独が一番居心地がよい、という状況があります。

これに対して、今の若者はけっこう調子よく社会的にワイワイ騒ぐ人間関係を持っているではないか、という反論があります。私はこれに対して「同調的引きこもり」という言葉を提出しました。みんなに調子を合わせることでみんなから引きこもる、お互いの人間関係を無難に調子よくやっていくことで深い関係になることを避けるわけです。ですから、若者が調子がいいというのも、他人と本当の意味で深く関わらないですむようにするために調子よくやっているという、これが私が20年以上前から言っておりますシゾイド人間の大きな特徴ということになります。

さて、シゾイド人間論のその後の展開ですが、それについては二つテーマがあります。一つは、現代はますますメディア情報社会になっていまして、新しいさまざまなメディアによる関わりが人間社会に生まれ、その傾向がシゾイド人間のある種の傾向を助長拡大してきたという点です。もう一つは、シゾイド人間は現代人の心のどちらかという消極的な面を捉えたわけですが、それを裏側からみてそれ以後私が展開した論に自己愛人間というテーマがあります。シゾイドにとって一番大事なのは何かという結局は自分しかなさ。つまり人間が持つ自己愛が現代人の大きなテーマだと考え、自己愛人間論を展開してきました。

まず、メディアの方から、1.5についての話をします。今のわれわれは一人にいるときに、テレビやビデオといつも組み合わせざったところで暮らすようになっていて、完全に

一人だけの心の世界の中にあることがなくなってしまったところがあります。人の心に対して、人間そのものないしは同等、あるいはそれ以上の適切な応答性を発揮する能力を持った機械と暮らしているのです。たとえばファミコン一つでも、実際の子供と遊ぶのと同様、またはそれ以上に面白く遊ばせてくれたりします。テレビやビデオでも同じことがあります。たとえば男性の場合、結婚してでもポルノビデオなどでの方が実際の女性との性生活よりもずっと興奮するという、そういう例もあります。

つまり、実物の人間関係よりも刺激的でより魅力的な世界がこのメディアとの関係の中でどんどん肥大してきているのです。こういった世界との関わりでは相手は人間ではなく機械でして、しかも半分人間、半分機械といったようなものです。対一の人間関係を二者関係としますと、つまり相手は1ではなくその半分の0.5ということになりまして、1と0.5を足した「1.5の関係」という言い方を私はしました。そして、現代人は1.5の関係の方が実際の二者関係、三者関係や純粋に一人だけの空想の世界よりも優勢になっているような心のあり方を次第に持ちはじめ、それなしではやっていけない事態になってきている、というのがメディアと1.5の関係についての私の考えです。

現代のわれわれは、そういう1.5の世界の中にシゾイド的な傾向を示しているといえるでしょう。つまり、本人の心の中ではけっして空虚でも孤独でもなく、メディア・システムとつながったところで充実して暮らしている、そういう新しいシゾイドのタイプというのがどんどん優勢になってきているように思います。これは一つのシゾイド人間論の展開だろうと思いますが、そこにはいろいろな問題もあるかと思っています。

次に、もう一つのテーマの自己愛に入ります。ナルシシズムですね。これは一言でいうと、自分が一番大切で可愛く、唯一自分にとっての愛の対象は自分だけだというテーマです。そこでの問題は、自己愛の満たされ方の変化です。かつてよくみられたのは、自分という個人を越えた組織や集団、思想などと同一化したところで自己愛を満たすというものでした。それを私はアイデンティティ型の人間と呼んでいますが、それを現代人は失ってしまった、というか捨ててしまった。そして残ったのは、単純な自分個人の自己愛の満足です。かつてならお国のためにとかいうことで満たされていた自己愛が、今は非常に個人的な自己愛の満足がすべてという時代になってきている。このことを私は

「アイデンティティ^{アイデンティティ}-自我理想^{アイゴリヤル}=裸の自己愛」

という公式で表現しています。つまり昔はみんな主義主張、国家社会というものと同一化した自己愛の満足をしていたけど、今はそういう理想像がなくなり、自分の直接的なまの自己愛の満足だけが自己愛満足の様式になっている。そして、それがまた精神生活に圧倒的な力をふるう時代になっているのではないか、というのが私の自己愛人間論であるわけです。



ところで、この話がシゾイド人間論とどうつながるのかといいますと、臨床的には自己愛人格の方が陽性の現れ方をします。専門的に言いますと、自己愛人格の根底には誇大自己というものがあります。自己愛人格の人はとても大きな自己像を持っている。たとえば、全部自分の思うとおりになるべきだ、自分は今みんなに賞賛されるべきだ、誰よりも自分は優秀だとみなされるべきだ、といった自己像を心の中に植え込まれた人が自己愛人格ですが、それを誇大自己といいます。そして、誇大自己が本当の自分だと思ってしまった人は、誇大自己が現実の自分と一致しているという体験を持つことができるときはすごく満足度が高いんですが、それが現実の自分と違っていると気づくとすごく傷つくことになります。

これを現代人にもっと広い意味であてはめていくと、今はいつのまにか一人っ子とか、子供の数が少なくなってきて、みんな家の中では王子様、お姫様で育ちますから、誰もがこの誇大自己を植え込まれやすい境遇にあります。しかもそこにもってきて、現代人は科学技術の進歩によって人類的な規模の誇大自己を持つようになっていきます。もう科学技術は全部進歩してしまって、何でも助けてもらえるし、何でも思うとおりになるという誇大自己をみんな持っているところがあるわけです。その現実と誇大自己のギャップが今のいろいろな人間の心の問題の拡大になっているんじゃないか、と私は大きな意味では思うんです。

昔だったらこれは自然の摂理ということで、どうやってこの不幸を受容するかという非常に心の謙虚な形で現実と関わっていったと思うんですが、今は、なぜこういうふうにしかなれないのかというもう一つ別の悩みが生じていて、これはむしろ自己愛の問題だろうと思うんですね。精神医学ではこういうのを一種の全能感といいます。自己愛が肥大すると何でも思うとおりになるはずだという思い込みが大きくなる。だから現代のわれわれはそういう意味での自己愛人間化、何でも思うとおりになるはずだという気持ちが強すぎるために起こるいろいろな悩み、不幸というのを抱えているのではないかと思うわけです。

そんなわけで、今日の話は臨床的な個人の話と社会全体に共有されている一つのモデルとしてのシゾイド人間とか自己愛人間の話の、両方の関係性というのをある程度お伝えできたと思います。大変熱心にお話を聞いていただいて有難うございました。

(文責：健康科学センター 濱野 清志)

九大生の性別意識に関する調査について

少人数科目「ジェンダーを考える」ゼミ生一同

皆さんは「男らしさ」や「女らしさ」について考えてみたことがありますか？ ふだん生活している中でも「彼は男らしい」とか、「女らしくになりたい」などと、私たちは知らず知らずのうちに「～らしさ」を念頭に置いて生活しています。「ジェンダー」とは、そのような私たちの意識にある社会—文化的に規定された性別を意味します。現在、伝統的な性別役割規範が崩壊しつつあるなかで、社会のあらゆる領域で男女の性別役割の意味を問い直す問題が生じています。

私たち「ジェンダーを考える」ゼミ生は、こうしたジェンダーをめぐる諸問題をさまざまな角度から考察してきました。今回は、私たちゼミ生が九大生を対象として行ったアンケート調査の結果を「radix」の紙面上で発表しながら、「男らしさ・女らしさ」について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

☆アンケート調査の方法は以下の通りです。

対象……九州大学の学部学生（有為抽出）

方法……受講生による調査票の配布・回収

期間……1995年12月20日～1996年1月9日

回収……389票

問1 男らしさとはどのようなことだと思いますか？

ベスト3は（18項目の中から3つ選択）

- 1位 頼りがいがある ……69.7%
- 2位 責任逃れをしない ……36.0%
- 3位 度胸が良い ……32.0%

男女とも同じ順位になりました。ちなみに以前読売新聞社がおこなった調査でも同じような順位になっているということです。

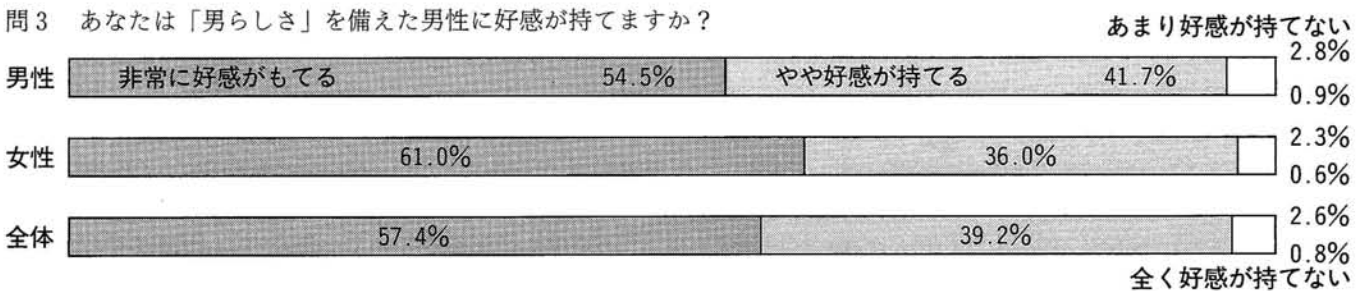
問2 女らしさとはどのようなことだと思いますか？

ベスト3は（18項目の中から3つ選択）

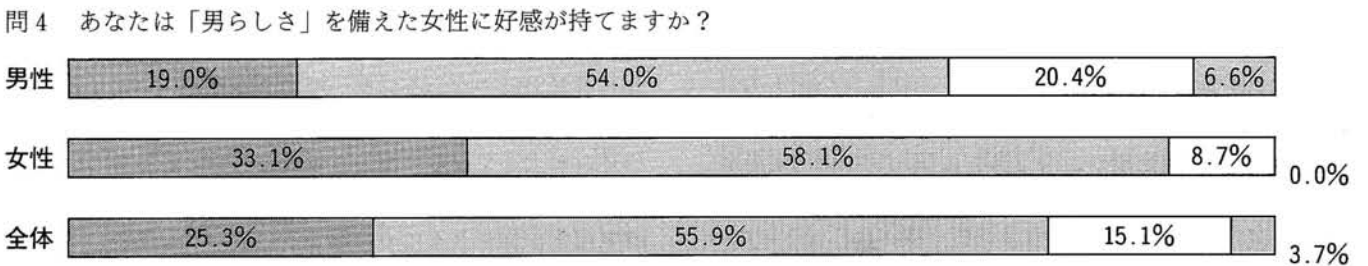
- 1位 思いやりがある ……64.8%
- 2位 さりげない気配りができる ……54.5%
- 3位 家事や育児を上手にこなす ……26.5%

3位は男性の意見が圧倒的に多かった結果のようです。女性の3位は、「きれい好きである」となっています。

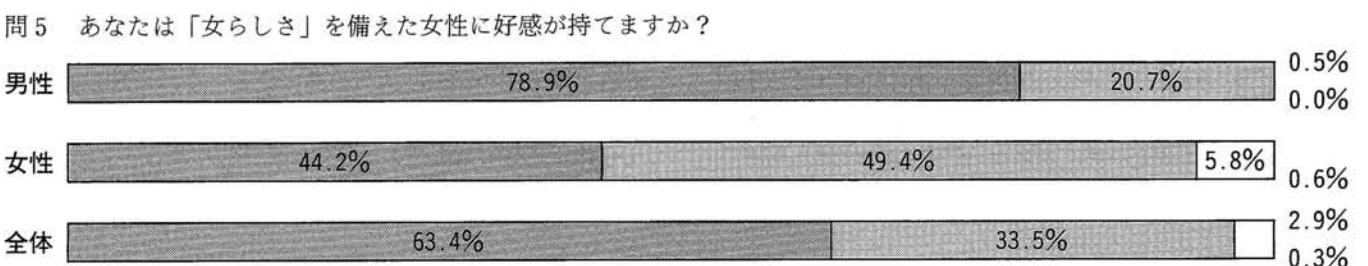
問3 あなたは「男らしさ」を備えた男性に好感が持てますか？



問4 あなたは「男らしさ」を備えた女性に好感が持てますか？



問5 あなたは「女らしさ」を備えた女性に好感が持てますか？



問6 あなたは「女らしさ」を備えた男性に好感が持てますか？

	非常に好感がもてる	やや好感がもてる	あまり好感が持てない	全く好感が持てない
男性	11.7%	33.3%	30.5%	24.4%
女性	11.6%	34.9%	39.0%	14.5%
全体	11.7%	34.0%	34.3%	20.0%

問3～問6では、「男らしさ」を備えた男性/女性に対する好感度は高い反面、「女らしさ」を備えた男性にはやや風当たりが強くなっています。男らしい女性は好まれて、女らしい男性は好まれないのは何故なのでしょう？

「男らしさ=人間らしさ」と潜在的につながっているからではないかと、私たちは推測するのですが……。皆さんはどう思われますか？

問7 あなたは「男は男らしく、女は女らしくあるべきだ」という意見に賛成ですか。

	賛成	やや賛成	やや反対	反対
男性	26.8%	44.1%	19.2%	9.9%
女性	5.8%	38.7%	38.7%	16.8%
全体	17.4%	41.7%	28.0%	13.0%

問8 〈男性への質問〉あなたは自分のあるべき理想像に対して、「男らしさは」どの程度重要ですか。また、結婚相手のあるべき理想像に対して、「女らしさ」はどの程度重要ですか。

自分自身に関する「男らしさ」	非常に重要である	やや重要である	あまり重要ではない	全く重要ではない
	33.8%	44.6%	16.4%	5.2%
結婚相手に関する「女らしさ」	25.2%	47.7%	22.4%	4.7%

問9 〈女性への質問〉あなたは自分のあるべき理想像に対して、「女らしさは」どの程度重要ですか。また、結婚相手のあるべき理想像に対して、「男らしさ」はどの程度重要ですか。

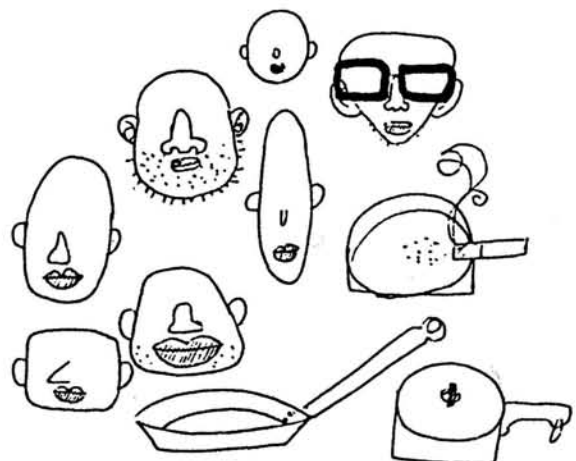
自分自身に関する「女らしさ」	非常に重要である	やや重要である	あまり重要ではない	全く重要ではない
	12.7%	46.2%	35.3%	5.8%
結婚相手に関する「男らしさ」	24.3%	50.9%	22.5%	2.3%

問7の「男は男らしく」「女は女らしく」については、賛成とやや賛成が男性では70.9%、女性では44.5%と、女性は男性より「らしさ」の強調を好まない人が多いようです。

問8、9では、女性自身はあまり自分の「女らしさ」は重要視しない人が多いようですが、「男らしさ」については、男性、女性ともに重要視しているのが解ります。

☆アンケート調査を終えて

人々の男性観・女性観は時代や社会とともにさまざまに変化しつづけています。私たちにとって今回のゼミ及び調査はそのことを考えるのに大変有意義なものになりました。皆さんも、ぜひ一度自分なりの「男らしさ/女らしさ」について考えてみてはいかがでしょうか。（おわり）



ええ!! 樋井川をさがすの?



今、真実を語る…… 「樋井川を探る」ゼミ生一同

今年、何やったっけー？

96年1月某日九大某所、我が「樋井川を探る」メンバーが大集合している（授業だからあたりまえだ）。これから、この授業で行われたこと、課外活動として行ったこと、メンバーそれぞれの一年を語り合う座談会が行われようとしている。

陣 最初に活動があったのは4月19日で、汚れてもいい服、メモ帳、あと……

杉 長靴買ったひとー？

「はーい!!!」

松 買ってないひと!!!

「はーいー!!!!」



注 我々「樋井川を探る」ゼミ生はときおり樋井川に飛び込む必要があるため、長靴は必要アイテムなのだ。

田 授業って10回くらいあったんやろ？

葉 全然覚えていないー。

高 だって川行って、公園にも行ったし、お前えー。

秋 油山一気登山とか。

立 こんな外出る授業も少ないよね。

中 そういえば今宿行ったやん。今宿ね。

松 どこそれ？

都&陣 行ってなーい!

末 何か、あった？

裕 「歴史の街」やん。

「??????」

葉 元冠防塁と毘沙門山に行ったんよ。



ああ、大学生になったなあ、てどんなとき？

田 12月30日の夜から徹カラいって、31日の朝、マックで迎えたとき。

裕 えええー、それ高校生でもやってるよ。

下 ゆうこさん、そんな飲みのみやったん？

裕 違うけど。

佐 そんな否定せんでも。

田 あと、親と行きよった山とかに、友達の手でドライブしたとき。

秋 一人暮らしで、一人だけのアパートとか。大学生になったて思う。

津 電話止められたとき。やったっつ、一晩中電話かかってこんー、て嬉しくて大学生やと思った。

久 文系の大講義室に座ったとき、しまった、て思った。何か乱暴に扱われてるなあって。

立 授業中にいつでも出ていけるし。

葉 でもよくあるドラマみたいで。

大学にどういうイメージ抱いていた？

佐 俺、だってねー、大学入ったとき、みんな草っ原で飯とか食って、ギターとか弾いてるかなって……。

「そうー、そうー!」

中 木かげで輪になって英語の本とか読んで。

都 噴水とかあって、何か“同志社”て感じの。

大 高校んとき、流行った数学の問題集で「驚くほど伸びる〜」てやつの表紙がそんなイメージ。教科書はみんな紐（ブックバンド）でぶらさげて。所詮イメージやった。

裕 センター試験で掃除道具置場とってたところが文系食堂やったと。

「ひでえー」



九大をどう思う？

中 文系さー、九大っていったとき、メインのシンボル、「赤門ー」とかないやん。

下 県営アパートみたいの建つとるもん。

大 六本松のモニュメントもいただけん。

注 「青陵の泉」

新制九大発足と同時に統合・廃止された旧制福岡高等学校の記念碑。旧制福高応援歌を歌いながら踊っている像。



高 あれ踊りですか!?

田 九大祭も紙吹雪の舞うものすごいのを想像しとったのに、外からみたらいつもと変わらん。しけしけやった。

秋 家で寝とったほうがまし。

立 行ったら行っただで友達にからまれるし。

鍊 あんなもんでも、まわりから苦情（電話）くると？

大学生やねー、て感じたことない？

「バイト!」、 「化粧!」

鍊 おばちゃんに「いやあ！ 九大に行きよったと!？」って言われたとき。

杉 向こう（本州?）では福大が国立で九大は私立と思われているみたい。知名度はかなり低いね。

秋 僕の田舎では合格発表あつてすぐ、近所のおばちゃんから「九大入ったとね」ていわれて、まち中大騒ぎ。

下 年寄りの中では（九大って）結構すごいもんかも。俺のじいちゃん、東大、京大その次九大やもん。

立 そんな時代もあったのかね。でも、どこの大学でも、入ってから何をするかなんよね。

松 え！ みんな、何かすること見つけとる？

高 それを見つけるために、大学へ来とるんやない？

「うひゃー！ 高！ 高!」

大 結局、一晩中議論、とかしたことはない。

杉 一晩中、カラオケやろ。

田 一回クラスであつまったとき、犬派か猫派かで議論になつたくらい。

陣 でもすっごい白熱だった。

今の大学生活、満足しとう？

「してない・・・」

松 何したらいいんかね？ やっぱ恋人ですか？

大 恋人できたら変わるもんかねえ？ かえって面倒くさくない？

田 そこが嬉しいんじゃよお。「困つたー」とか言いながらにこにこ・・・。

津 男は始めは楽しくて、あとでやつれてくる。急にどっか行きたくなるし。



これ、radixに載るんやろ？

津 入学したての新入生に向かって大学幻滅させるようなこと言つて。

秋 いいやん。だから入った途端幻滅して、大学やめて浪人としてあと1年がんばる。

杉 結局大学に入るんだろ。意味ないじゃん。

田 ……般教って役に立つんかね。

久 大人になつたら役にたつき。若いうちは分からないものさ。

「……………」



4月からどうする？

末 単位はほとんど揃うと思うし。

中 英語がやべえー。

鍊 去年はゼミで体育祭のソフトに出たね。今年はバスケと柔道に出ようや。

都 誰が柔道に入るん。

松 来年もゼミはあるんでしょ。

大 1年間のゼミは受けられんて。

裕 ゼミに押し掛けてコンパしようよ。歓迎コンパ。私達先輩じゃない。

「しようしようしよう!」

というわけで、入試もまだなのに新歓コンパの計画がたつてしまいました。1年生のみなさん、待っているよ。 96.1.31





「あやしい音楽家」

工学部材料工学科3年 髙橋 卓 皓

中学校の授業ではリコーダーが吹けずに残されて、友達とカラオケに行けば、その下手さ加減にそれまでの手拍子も鳴り止んで、当然、音符も全く読めなかった、という私でも、音楽への大きな憧れだけはずっと持っていました。

小学生の頃、シンセサイザーという楽器を使ってピコピコと不思議なメロディーを奏でるバンドの音に出会って以来、その発振音はずっと私の心を揺さぶり続けてきました。人間の演奏ではとても追いつかない、シーケンスと呼ばれる16分音符の細かい音の列は、マルチメディア華やかな現在では、さして耳新しい響きではありませんが、幼い自分には、そのピコピコは未知の世界よりやってきたメッセージのように心に焼きつけられたのです。

しかしソロバン塾には通わされても、ピアノなど習わせてはもらえませんでしたし、仮に習うことが出来たとしても、楽典の持つ厳密さには、飽きっぽい性格がついていかなかったことでしょう。代わりに何をやってたかというところ、ちょうど家に英会話の学習用の2トラックのテープレコーダーがあったので、これを使って、テレビの音や、家族の声や、皿や鍋を叩いたヘンな音を多重録音しつつ「芸術家」してました。エレクトーンを持っている友達の家におじゃまして、その音を使わせてもらったこともありますが、私のハチャメチャな「音楽もどき」には、その友人もびっくりしていたようです。そのうち「ザ・ベストテン」などの番組で歌謡曲を好んで聴くようになり、こういう前衛音楽活動(?)は止めてしまうのですが、それでもいつかは自分で機材を揃えて・・・という気持ちはありました。

当時は、高価なシンセサイザーを、これまた高価なコンピュータで演奏させるというのは、個人、アマチュアのレベルでは考えられませんでした。それになんと言っても、楽典の知識なしに音楽をやるのはとても大変なことです。クラスのピアノ少女やエレクトーン少年が、誇らしげに教室のオルガンを弾きこなしているのを隅から眺めては、やはり音楽の世界は、自分とは程遠いものであることを痛感させられたものです。

しかし、それから十数年たった現在では、たとえ譜面が読めなくとも、比較的安くなった機材を使用して作曲が楽しめるようになりました。

尊敬する某アーティストのインタビューを読んでいた時のことですが、「ウン千万円する機械を使って作曲してる」という記事だったので、その時は、ああ、この人のようなカッコ良い音を作るのにはウン千万円いるのかと思いこん

だりもしました。しかし技術の急進歩もあって、実際には安い機材でもCDに入ってるような音を出すことが出来ます。現在私の所有している機材は、ワークステーションと呼ばれる型のもので、61鍵の鍵盤を持つ細長いボディに、音を出すシンセサイザー部(いわゆる「楽器」の部分)と、シーケンサーと呼ばれる、自動演奏プログラムを作成するコンピュータ部を内蔵しています。まず、シンセサイザー部について説明しますと、ここではピアノやギターといった、既製の楽器の音を真似て出すことが出来るほか、自分で波形を編集することで、ボールの跳ねたような音や、宇宙船の音(?)など、通常の楽譜では表すことの出来ないような音を作ることが出来ます。またドラム等打楽器の音も沢山入っています。音色は計数百種登録可能。

シーケンサー部は、ピアノならピアノ、ギターならギターのパートはこういう風に演奏してね、とシンセサイザーに命令を出すところです。ドラムを一小節に何回叩いてねとか、ギターはこのコードをひいたら次はこのコードを弾いてね、という風に、あらかじめ命令を打ち込んでおくと、その通りに演奏してくれます。実際にこんなメロディーよ、と弾いて命令するもよし、ドミソの音でお願いね、と文字で打ち込んでもOK。機材は一台しかありませんが、中に最高16個の楽器が入っている勘定になり、16パートのバンドを操るような感覚で作曲を行う事が出来ます。機械を使って演奏しても機械的な演奏にしかならんだろうという意見もありますが、昔ならいざ知らず、今では楽器の発音のデータを細かく編集することで、様々なニュアンスを表現する事が出来ますので、ピアノ20年やってますとか、ギターひと筋15年とか、そのようなキャリアがなくてもある程度は生に近い演奏が可能です。なんといっても自分が好きで作ってる音楽なので、機械の演奏だから云々とかいわれても、そんなのはどうでもいいことなのです。

気になるお値段の方ですが、安くて大体10万から20万ぐらいです。ちなみに私が一年前に購入したモデルは、今では8万から9万で売られているそうです(涙)。パソコンと同じで、この手の電子楽器は値崩れが速いようです。

最初は押さなければならないボタンや、考慮すべきパラメータが多く、こんなので、ほんとに音楽が作れるのかと思いましたが、慣れるとファミコンより面白く、平均して一週間に一曲(ヘンな宇宙音楽?ですが)作っています。

ちなみに譜面は今でもあまり読めません(高いドの音が、どこにあるかわからない)。

青い空の下を風が強く吹き起り
街にも人影がすっかりとなくなったころ
僕は公園にて椅子に座り
白い表紙の本を
そして
その向こうを
——この庭は街の一番の高みにあって
そこからとび出したような水道橋が空をつきつてゆくのを
眺めていた

思っていたのは
歩いてきた路々のこと
夏の午後を共に語りあって過ごしていた友人たちのこと
こずかれながら歩かされた裏路地や
読んだ本のこと
言葉がどのように来て
去ってゆくのか僕は知らない
今頃どの様に過ごしておられるのだろうか
光景の中で見えないのは
僕がどんな顔をしていたかということ
話していたこと
僕の背後にひろがるのは荒野のようなものかもしれない

フェリーにのり
濃霧につつまれてしまった波止場が遠ざかりゆくのを目の前にしながら
手紙を書いた
海流は君を遠くへはこぶだろうと
しかし
底の方を流れるものは何なのか
何処へゆくのか
君は如何にねむるのか
どこへゆくのか

初夏の或る朝早くころがるようにして家を発ち
ポーツマスの終着駅について列車を出た僕は
何方へ向かえばよいのかもわからず
やっとのことでそこにいたもう年配の紳士に
大陸に行きたいのだが
と尋ねたのは正午を少し過ぎた街はずれ
彼は案内所で確かめた後
一つの停留所にて私と共にバスが来るのを待った

雨が降るを思わなかったのだろうか
音もなく
霧の中の雨が
陸にのぼってくる
船がル・アーブルにつく時
吹き出した歯車と
そして

のうべりとした水面より浮かびあがる影のようなもの
そんなものがはっきりと僕の頭の中にあられるのだろうか

船の上は空白の時間
船は海を引き裂いて行く

僕をどこへつれてゆくのだろうか
遠く離れたところに見えるものは
まちの灯りだろうか
対岸の駅を出た列車は農村地帯をぬってゆく
うすすらとかかった霧の中
朝霧達が丘々をほのかに浮かびあがらせる様な
夢を
船にのる僕は見ているのか

突然に自分を呼ぶ声が聞こえ
そちらに顔をあげると
僅かの間定まらない目の前に
懐かしい顔が見えた

行く年来る年は

文学部2年 萩島 弘

夏の Montpellier に捧げる

「九大生専用バス」の利用を!

九州大学の新生の皆さんは、カリキュラムに基づき、週に1度箱崎地区や病院地区に、通学することになります。入学直後で福岡や博多のまちにあまり詳しくないみなさんが、それぞれの通学日に、簡単かつ確実に六本松から箱崎地区や病院地区へ通学できるようにと、**九大生専用**のバスが運行されています。六本松キャンパス構内（本館玄関前）を始発として、箱崎・病院に向けての片道（往路）だけの運行です。

運賃は200円で、定期やパスカードの利用も可能です。

バスの運行・時刻は、六本松キャンパス本館前のロータリーの植え込み内案内板に掲示しています。



表紙絵画説明

「好きなもの」

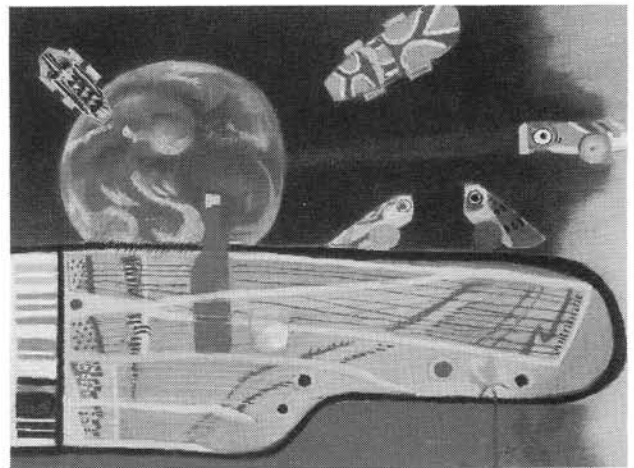
みやちむつみ
宮地六美



エンデバーの着陸、カッコよかったですね。若田さんは宇宙からではなく、隣村から帰ってきたようなお顔でニコニコ笑って降りて来られました。カッコよかったです！若田さんは九大出だそうですね。同じ大学の出身というだけで、こちらまで何だかスゴク誇らしい気分になりましたよ。元気も出て来ました。若田さん、本当にありがとう。

日本人で最初の宇宙飛行士は秋山さんというテレビ局の方でしたが、飛び立つところから帰還までのすべてを、テレビ報道いたしましたので、私、その時も何日間かテレビの前から離れられませんでしたね。「こちら、ソユーズに乗っかります秋山です。……その下にかすかに青い地球、やっぱり青いですねえ」そうか。やっぱ、地球は青かったか。私は別に国粹主義者でも民族主義者でもありませんが、日本人が、今、我々の上を飛んでいるんだと思っただけで、民族の血が騒ぐのでしょうか、わくわく興奮してしまって夜も眠れず、テレビを見続けたんです。

その時の興奮を絵に描いたのが、表紙の絵です。「好きなもの」という、大層いい加減な題が付いておりますが、パステル画で20号の大きさです。パステルを習い始めた頃の絵ですが、自分でも気に入っているものの1つです。パステルを習うと同時にピアノも習い始めましたので、ピアノを月に見立てて画面に入れてみました。月面から地球が登ってくる様子を描きたかったのです。右側をオ



レンジ色に塗りましたが、これは太陽のつもり。

きじ車を3つ地球の回りに飛ばしました。きじは鳥類なのに空を飛ばしません。きじだって空を飛ばたいだろうと思ひましてね、これをモチーフに選んだんです。右端のきじ車が私のつもりです。熊本県人吉産のきじ車です。私、学生時代から永年にわたって、人吉市の火砕流を調査いたしましたので、人吉のものには特別、愛着があるのです。他の2羽は福岡県瀬高町清水寺産のもの。

別にウイスキーをなめなめピアノを弾いているわけはありませんが、縦の線としてウイスキー瓶を1本、ピアノの上に置いてみました。地球、月、太陽、宇宙船、それにお酒。これだけ描けば、地質学者が描いた絵だということは一目瞭然でしょう。

パステル画を習い初めて1年半たった時、友人と2人で新天町のギャラリーSELという所で展覧会をいたしました。そしたら、この絵がRKBテレビさんの目に止まりましてね、この絵を「一枚の絵」というコーナーに出させてもらったんですよ。そしたら、早速、買い手が付きましてね、結構よい値で売れましたのよ。ホ、ホ、ホ。「いくらで売れたか？」ってですか？それは内緒。

比較社会文化研究科 地学 元教授

六本松学生なんでもマップをつくろう

- 〇〇食堂は安くてボリュームたっぷり
- 焼き鳥△△はあいそがいい
- コインランドリーは××がおすすめ
- たそがれどきの散歩は▽▽坂
- 公園はねそべって本を読んでいる人が多い
-等

あなたが利用している「店」を教えてください。あなたが自由時間を過ごす「場所」を教えてください。そして、理由、特徴、おすすめ事項なども。

それらをもとに、

- 「食べ物マップ」
- 「散策、空き地、公園マップ」
- 「六本松〇丁目マップ」など、

六本松情報を満載した地図をつくることを計画しています。あなたが知っている「六本松」を学内のみんなに伝えましょう。

情報の提供は、文書、地図、イラスト、写真など。教務掛レポートボックスの中の「radix ご意見箱」に投函してください。(編集委員会)



最近、六本松地区の3名の先生がそれぞれ書かれた本を読みました。いずれの本も出版されたばかりですが、それぞれの先生の専門分野に関わる難しい内容のものではありませんでしたので、気楽にしかも楽しく読むことができました。学生にとって、教師はいくらか近寄りやすい存在ではないかと思いますが、これらの本を読むことによって、授業の場だけからは知ることができない教師の実像の一端を知ることができ、それが教師を身近に感じるきっかけとなるのではないかと、という期待をもって、これらの3冊の本の内容を紹介することにします。

地学の酒井治孝助教授(比較社会文化研究科)は、ヒマラヤ山脈と日本列島の2つのタイプが異なる造山帯が形成された過程を研究されています。ヒマラヤ山脈がかつて海だったことを示す証拠として10億年以上前の渚のさざなみが化石となって残った岩盤があるそうです。その巨大な岩盤をヒマラヤ山中で切り出し、日本まで運び、それを博物館に展示するという神奈川県立生命の星・地球博物館の計画に、酒井助教授が協力された経過などが、著書「ヒマラヤの渚」(近代文藝社)には書かれています。切り出す岩盤は、縦10m、横5m、厚さ30cmで総計81トンという巨大なもので、すでに小田原の博物館に展示されているということです。大学の研究者が協力するといえば、計画を実行するうえで参考となる知識や知恵を授けるくらいのことと思いましたが、酒井助教授の場合は、2名の大学院生の他に現地の人々を指揮して、岩盤の切り出し、道路までの運び上げ、国境の通関などの困難な仕事を進められています。何故このような計画に協力する気持ちになったかということのほか、岩盤切り出しの工夫と失敗、現地の人々との協力のあり方など、内容が深く元気がでる読み物になっています。

英語の鈴木右文助教授(言語文化部)は、生成文法という分野を研究されています。鈴木助教授が福岡女学院大学の荒木正美教授と一緒に書かれた「尾道を映画で歩く」(中川書店)は、大林宣彦監督の映画作品「転校生」、「時をかける少女」、「さびしんぼう」、「ふたり」を中心に、撮影地である尾道を歩いて巡りながら、映画と尾道を一層深く味わうことを誘う本になっています。読者がこれらの映画をすでに見ていることを前提として書かれていますので、見

ていない私にとっては読みづらい点もありましたが、大林映画と尾道を愛する気持ちはよく伝わってきましたので、これらの映画を見てみようという気持ちと尾道に行ってみようという気持ちが生まれました。

ドイツ語の杉浦實教授はこの3月に停年退官されました。杉浦教授の随想集「くそくらえ」(葦書房)は、これまであちこちに書かれたものを集めて編集されたものです。

「戦争なんかくそくらえ」に始まって、あとがきでも戦争を憎む激しい気持ちが書かれています。内容は、文学論、芸術論、自叙伝風の記事、旅行記、随筆など多彩です。俳句や短歌みたいな形式にはこだわらない短い詩としての一行詩のことを、私はこの本で初めて知りました。杉浦教授は文系であるにもかかわらず主観と客観のバランスがとれた思考をする人であるという印象を前からもっていましたが、この本を読んでその根源が判ったような気持ちになりましたし、読みやすい文章はドイツ詩の韻律を研究されているからだろうと思いました。この本は自費出版ですが、六本松地区図書館にあります。

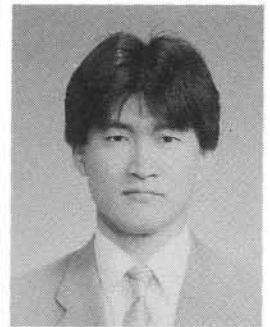
~~~~~ 〈新任教官自己紹介〉

## 自己紹介

比較社会文化研究科・日本社会文化専攻

助手 山下 潤

私は昨年12月1日に大学院比較社会文化研究科地域構造講座に着任しました。着任以前はスウェーデンのルンド大学で人文地理学、とくにGIS(地域情報システム)を含む地域分析論と時間地理学を学びました。学位論文では肉体的・精神的に健康な高齢者が日々利用する施設の最適立地問題を、高齢者の日常行動に則して解明しようと試みました。この研究では距離と人口を用いて、高齢者向け施設の最適立地を解明することに主眼をおきましたが、幸いにも、ルンド大学社会経済地理学部では時間地理学の理論的基礎が築かれており、女性の労働問題、障害者の生活問題といった基礎的な研究や、子供をもった女性のための保育所の立地問題のような応用的な研究が活発に議論されており、今後は、このような時間地理学的な視点をとりいれて、高齢者の行動の分析を通じて高齢者向け住居・施設の最適立地を探索したいと考えています。また、住居や施設を計画・選択する際に、計画者や利用者の意志決定を支援するSDSS(空間意志支援システム)などを含むGISの技術は大変有用なので、これらの知識も十分に活用したいと思っております。では今後とも宜しくお願い致します。



# 六本松地区事務窓口案内

六本松地区で修学する1年半（医・歯学部は1年）の間、皆さんが事務手続を行う、比較社会文化研究科等事務部（六本松地区の事務部）の各窓口概要を紹介します。

詳しい内容は、配付済みの「学生案内」や「全学共通教育科目履修要項」、「全学共通教育科目履修の手引き」などで確かめてください。また、具体的な情報は、

## 学生向け「公用掲示板」

新1号館下の通路の両壁面……授業関係

本館と1号館の間の中庭……学生呼び出し、宿舎・経済関係、課外活動関係

に、その都度掲示されます。周知された事項を見落とすことのないよう、日頃から注意してください。本紙22頁の「諸手続一覧」を参照するほか、分からないことは、各掛の窓口でもお尋ねください。

## 【各掛の窓口が開いている時間】

|                       |            |             |
|-----------------------|------------|-------------|
| 教務掛, 学生掛, 寮務・課外活動掛 …… | 8:30~12:00 | 13:00~17:00 |
| 経理掛 ……                | 9:00~12:00 | 13:00~16:00 |

## 履修・受験届, 成績通知など

教務掛窓口（本館1階西側）

### (1) 履修・受験届の提出

- ・ 授業開始2週目に、「履修・受験届」を教務掛に提出してください。この手続をしないで授業に出たり、試験を受けても単位は認定されません。
- ・ 「履修・受験届」の確認は前期は5月中旬、後期は11月中旬に行います。

### (2) 成績の通知

- ・ 個人別の「成績通知表」は、定期試験（9月と2月）終了後にそれぞれ配付されます。
- ・ 追試験の手続は「全学共通教育科目履修要項」を見てください。

### (3) 成績証明書の発行

- ・ 各種奨学資金申請やアルバイトなどで必要な場合に「成績証明書」が発行されます。印鑑を持参してください。約3日後に交付されます。

## 授業料, 田島寮寄宿料

経理掛窓口（本館2階中央）

### (1) 授業料の納入

- ・ 授業料は、前期は4月30日、後期は10月31日までに納入してください。
- ・ 窓口での現金納入の代わりに、指定した金融機関での「代行納付」も実施しています。

### (2) 田島寮寄宿料の納入

- ・ 寄宿料は、毎月20日までに納入してください。

## 奨学金, 授業料免除, 保険など

学生掛窓口（本館1階西側）

### (1) 日本育英会などの奨学資金の出願

- ・ 応募手続期間が短い場合が多いので、公用掲示板の掲示内容に気を付けてください。
- ・ 各人が大学を経由せず直接出願手続をする場合で、大学発行の推薦書等が必要な場合、書類作成に日数を要しますので、早めに申し出てください。

### (2) 授業料の免除

- ・ 授業料免除の募集は、授業料の納期分毎（前期、後期）に別々に行われます。
- ・ 授業料免除の出願には、いろいろ要件がありますので、事前に窓口でよく確認してください。

### (3) 学生教育研究災害傷害保険

- ・ 正課中、課外活動中及び通学中の事故に保険金が支払われる制度です。4月と10月に加入を受け付けます。

### (4) 学友会保健部による医療経費の還付

- ・ 九州大学学友会加入者が、在学中に病気などで医療機関に経費を支払った場合、その一部が還付される制度です。
- ・ 手続の時には学友会会員証、医療領収書及び印鑑が必要です。

### (5) アルバイト登録と紹介

- ・ 六本松地区の学生掛でアルバイトの紹介を受けるには事前の登録が必要です。登録者は、窓口で求人票の内容や雇用条件を検討した後、所定の申し込みをしてください。

## 学生証, 各種証明書など

学生掛窓口 (本館1階西側)

- (1) 学生証の再交付
  - ・ 紛失・汚損したときは、再交付申請をしてください。写真と印鑑が必要です。1週間で交付します。
- (2) 在学証明書の発行
  - ・ 申請するときには、その必要理由と提出先をあらかじめメモしてきてください。
- (3) 通学証明書の発行
  - ・ 六本松地区の証明書は大学教育研究センター長名で発行しますが、皆さんの学生証は所属学部長名で発行されています。このことで質問があったときは、学生証の裏面を提示して説明をしてください。
- (4) 学割証の発行
  - ・ JRの学割証は片道100km以上利用する場合に発行します。年間使用限度は1人10枚です。
- (5) 住所変更などの届け出
  - ・ 本人や保証人の住所変更、本人の戸籍上の変更などは、すぐに届け出てください。

## 健康・修学・生活相談

保健室 (本館1階東側)

- ・ 健康科学センターの保健管理医師と看護婦が常駐し、健康相談を行っています。
- ・ 健康・スポーツ科学実習の受講が困難な学生のために、健康・スポーツ相談室と連絡をとり、保健指導を行っています。

健康・スポーツ相談室 (本館1階東端)

- ・ 健康・スポーツ問題、健康・スポーツ科学実習、課外体育活動についての指導を行っています。

カウンセリング・ルーム, 学生指導教官室 (本館1階東側)

- ・ 修学上の問題、進路選択や日常生活の問題などについて、個人的に相談・助言が得られます。
- ・ 対人関係や性格など、学生生活を送るうえでの個人的悩みや進路選択の悩みなどの相談に応じます。プライバシーについては十分な配慮をしています。

学生掛窓口 (本館1階西側)

(1) 相談の橋渡し

- ・ 個人のプライバシーに十分留意して、学生指導教官などへの橋渡しをしています。

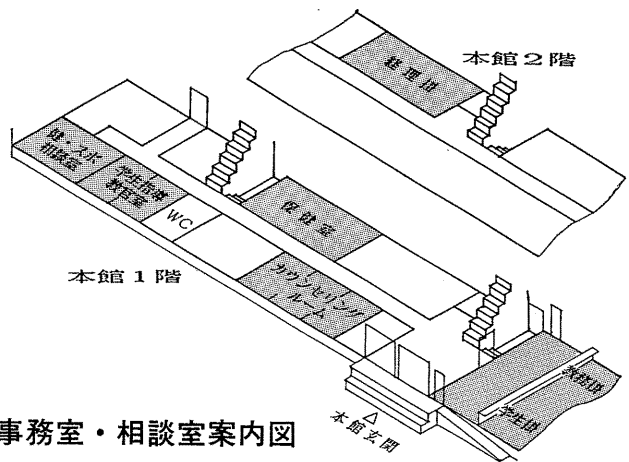
(2) 身障者用エレベーター利用と自動車入構

- ・ 身障者や病弱者専用のエレベーターを1号館と4号館に設置しています。図書館のエレベーターも利用できます。利用の希望があれば申し出てください。
- ・ 身障者や病弱者で自動車による通学が必要な場合には、六本松地区への入構許可書を交付します。

## 休学, 退学, 復学

学生掛窓口 (本館1階西側)

- ・ このことについては、クラス指導教官や箱崎・病院地区の各学部長と協議する必要がありますので、六本松地区学生掛に事前に相談してください。



事務室・相談室案内図

## 相談室一覧表

|                         | 相談内容                                          | 受付時間            | 担当者(内線電話)                  |
|-------------------------|-----------------------------------------------|-----------------|----------------------------|
| 保健室<br>(本館1階東側)         | 健康相談 疾病, 負傷などの健康上の問題<br>健康・スポ実習の受講困難な学生への保健指導 | 10:00<br>~16:00 | 保健管理医師<br>看護婦 (4809)       |
| 健康・スポーツ相談室<br>(本館1階東端)  | 健康・スポーツ問題<br>健康・スポ実習や課外体育活動についての指導            | 10:00<br>~16:00 | 健康・スポーツ科学<br>担当教官 (4808)   |
| カウンセリング・ルーム<br>(本館1階東側) | 心理的不安や対人的悩み, 進路選択の悩みなどの個人的・心理的問題              | 9:00<br>~17:00  | 藤原教官 (4806)<br>吉良教官 (4806) |
| 学生指導教官室<br>(本館1階東側)     | 個人的な問題 学生生活上の問題など                             | 10:00<br>~16:00 | 園田教官 (4803)<br>濱野教官 (4805) |
| クラス指導教官<br>(各教官室)       | 一般的な修学相談 各種申請書への添書<br>各専門教官への橋渡し              | 在室時             | 各クラス指導教官                   |
| 学生掛 (本館1階西側)            | 一般的な相談 各専門教官等への橋渡し                            | 窓口時間            | 学生掛                        |



# 六本松地区教室・施設案内

## 六本松地区の教室番号

### (1) 教室番号の見方

- 六本松地区の教室は、建物別・階別にほぼ規則的に番号が付けられています。
- 例えば、N153, 410, 26などです。番号のうち百の位は建物をあらわします。十の位は階を、一の位はその階での番号です。

|      |   |     |     |     |
|------|---|-----|-----|-----|
| N153 | は | 百の位 | 十の位 | 一の位 |
| N1   |   | 5   | 3   |     |
| 新1号館 |   | 5階  | 3番目 |     |

の教室です。

410 は 4号館 1階 0番目 の教室です。

26 は 本館 2階 6番目 の教室です。

100番台は1号館, 200番台は2号館, 300番台は3号館の教室です。

### (2) 規則に従わない教室

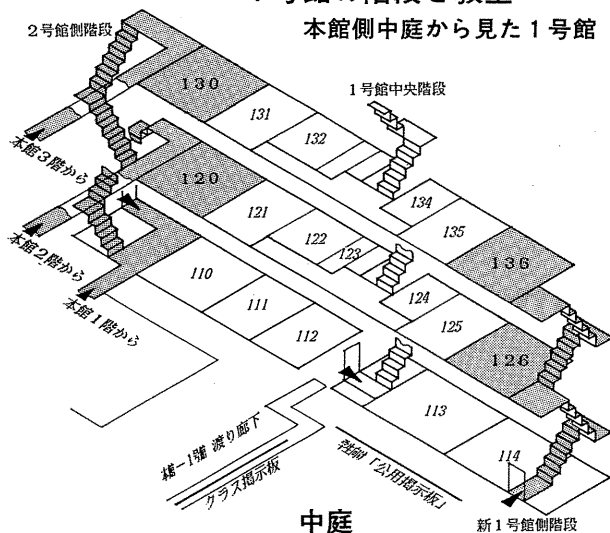
- 特1 は本館と1号館をつなぐ3階の袖の部分です。
- 特2 はキャンパスの北の隅, プレハブの建物です。
- 実験室などについては、「全学共通教育科目履修要項」の室等配置図を見て、場所を確かめてください。

### (3) 隣の教室に行けない建物

- 1号館の2階と3階の教室は、特定の階段を上らなければ、それぞれの教室へ行くことができません。
- 120番と130番は2号館側の階段または本館の袖の部分から行くことができます。
- 126番と136番は新1号館側の階段を上ってください。
- 2, 3階のその他の教室は1号館真ん中の階段です。

### 1号館の階段と教室

本館側中庭から見た1号館



## 教室の一般使用

### (1) LL教室 (1号館2階)

- 平日で授業に使用しない時間帯には、教室内のブースを個別に利用することができます。
- 詳細はLL事務室(1号館2階東)で尋ねてください。

### (2) 情報処理教室 (130, 131, 特2)

- 平日で授業に使用しない時間帯と放課後の20:00までは一般使用が可能です。

### (3) 学習室 (本館1階, トリトン横)

- 平日で会議に使用していない時間帯は、18:00まで自習室として利用できます。

### (4) その他の教室 (実験・実習室を除く)

- 平日で授業に使用しない時間帯には、施設時まで、自習・読書などのために使用できます。

## 談話室, 食堂の自由使用

### (1) 第1, 第2, 第3談話室 (学生会館2階)

- 第1談話室, 第3談話室は16:00まで, 第2談話室は21:00まで, 談話・休憩・読書などのために自由に使用できます。

### (2) 第1, 第2食堂 (学生会館1階), 軽食堂 (学生厚生センター2階), トリトン (本館1階)

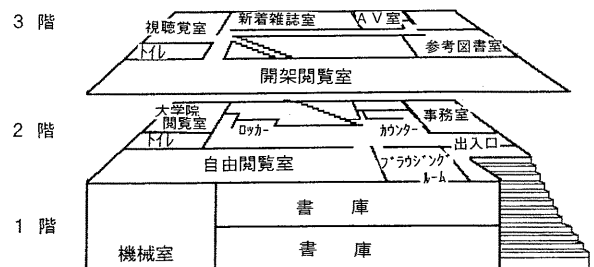
- 生協の営業時間終了時まで, 食事・談話に自由に使用できます。

## 図書館(附属図書館六本松分館)

- 開館時間は 平日 9:00~20:00  
土曜日 10:00~16:30

です。試験期間や夏休みなどは時間を変更します。

- 入館には、「図書館利用者票」が必要です。
- 「図書館利用者票」は、図書の借り出しにも必要です。図書館利用の際は常に携帯してください。



## 体育施設の一般使用

### 体育館窓口（体育準備室）

- ・ 体育館・グラウンド・テニスコートは、昼休みと夕方の時間以外にも自由に使用できる時間帯があり、器具の貸し出しも行います。利用方法、利用時間帯については、中庭の掲示板と窓口に掲示してあります。
- ・ 海や山に行く人のために、年間を通じてキャンプ用品の貸し出しも行っています。

## 学生会館、亭々舎など

### 学生会館事務室窓口（学生会館1階）

- ・ 学生会館各室の特別（グループ・サークル）使用願いは、4週間前から前日の午前中まで。学生証、印鑑が必要です。学外者を含む場合は1週間前まで。

### 寮務・課外活動掛窓口（課外活動共用施設1階）

- ・ 教室の特別使用願いは10日前から前日の午前中まで。
- ・ 亭々舎（六本松キャンパス南東隅）は旧制福高時代からの建物で、クラス・サークルの読書会や懇親会場として利用できます。利用申し込みは、利用日の1月前から3日前まで。

## 自転車・オートバイ置場

- ・ 自転車は自転車置場(23頁参照)に整然ととめてください。
- ・ 本館玄関前の一時駐輪は出来ません。
- ・ 自動2輪やバイクは、通学距離2km以上の学生のみ、「南門」(23頁参照)からの入構を認めています。
- ・ 学生の自動車による入構は認めていません。

## 学生専用掲示板

- ・ クラス掲示板は本館と1号館の渡り廊下に設置されています。
- ・ 学生専用掲示板は厚生センター下の通路の両壁面と体育館前のグラウンド沿いに設置されています。

## 喫煙・ゴミの処理

- ・ 喫煙ができるのは、吸殻入れのある場所だけです。
- ・ ゴミ箱は不燃物と可燃物に分けて設置しています。

## 学生寮、下宿・間借り

### 学生掛窓口（本館1階西側）

- ・ 松原寮と女子寮の募集は9月と2月の2回です。申請書類の交付は学生掛でも行います。
- ・ 下宿・間借りの紹介も行っています。

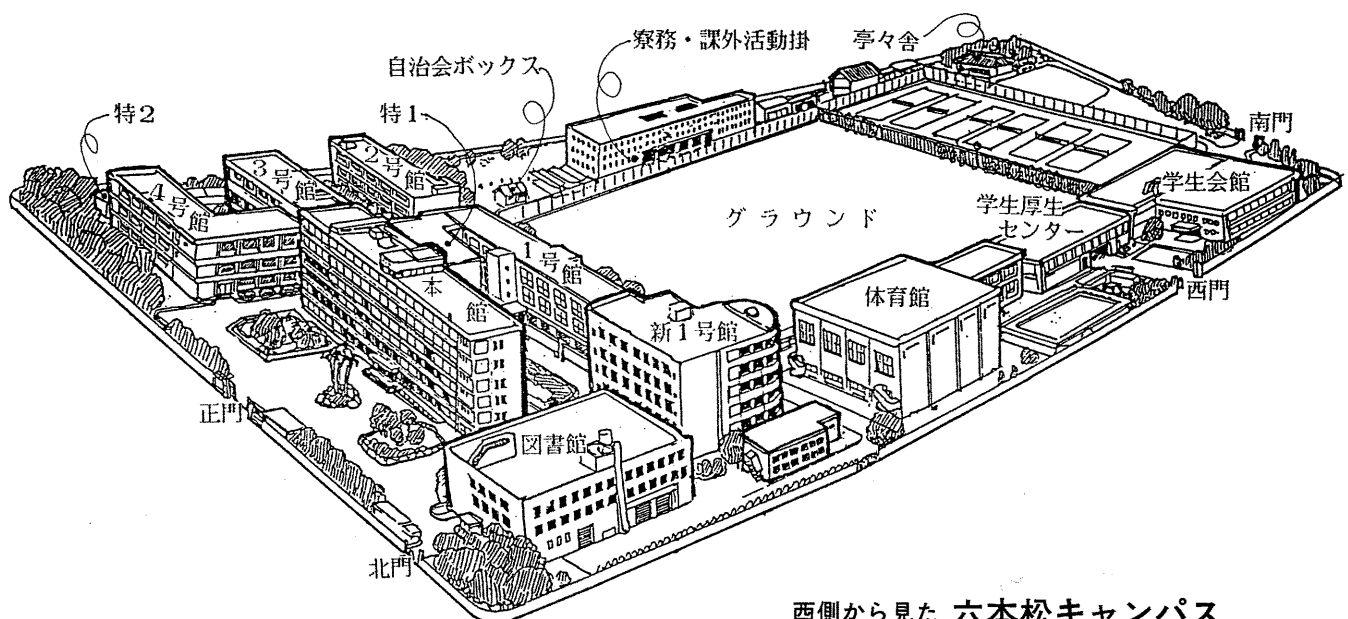
## 山の家、学外研修施設

### 寮務・課外活動掛窓口（課外活動共用施設1階）

- ・ 九大山の家は阿蘇国立公園の九重連峰を望む九重町筋湯にあります。学生・教職員のゼミや合宿、登山の基地として利用されています。利用願は2か月前から15日前まで 1年前から予約可。「学生案内」参照。

### 学生部学生課総務掛（箱崎キャンパス）

- ・ 九重共同研修所（山の家）と島原共同研修センター（島原市郊外）は共に九州地区国立大学の学生・教職員の研修施設です。予約は1年前から2か月前、利用申込は2か月前から15日前まで。「学生案内」参照。



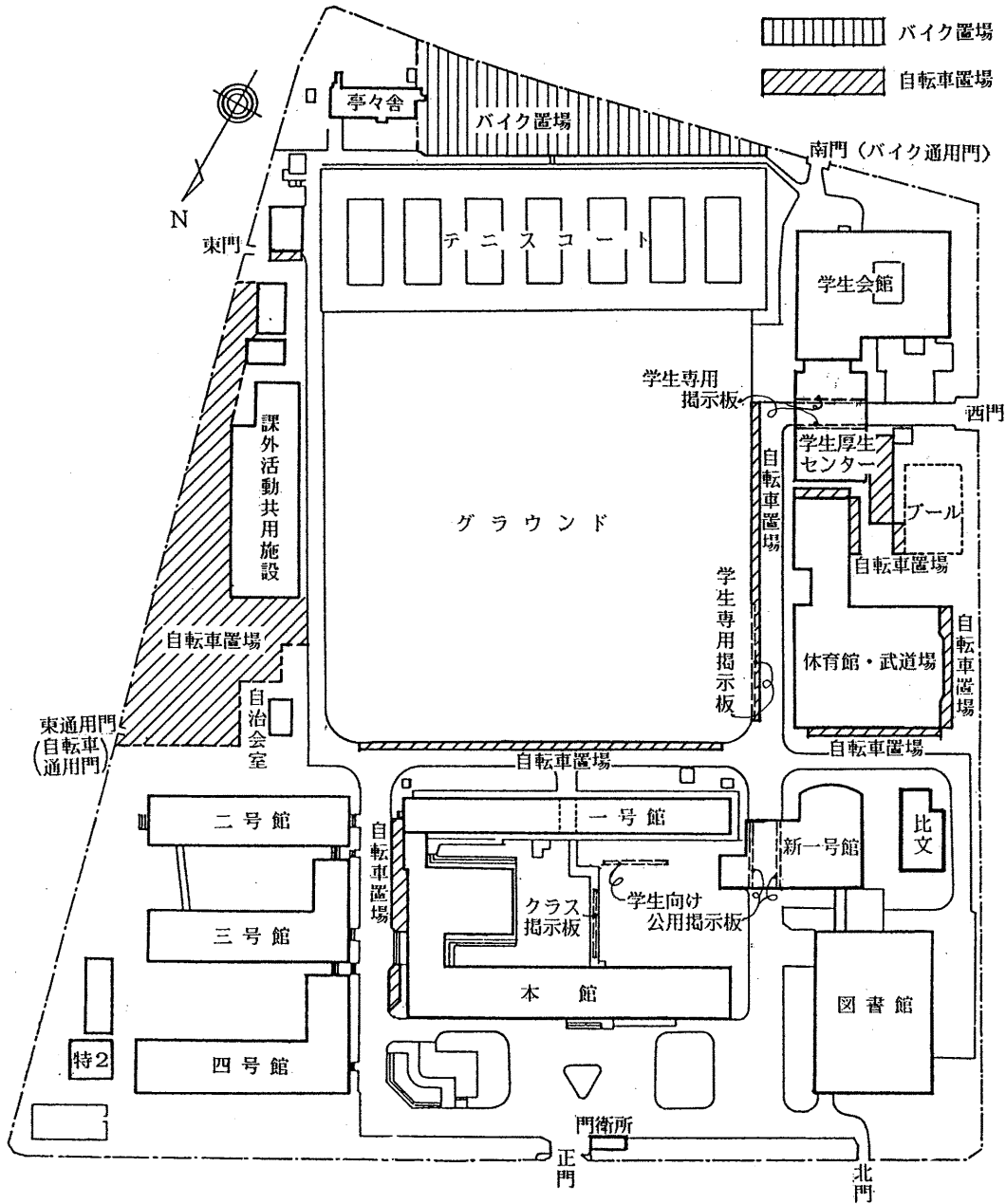
西側から見た 六本松キャンパス

諸 手 続 一 覧 表

| 種 別                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 手続先掛名等                          | 必要書類・手続期間等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 注 意 事 項 等                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 聴 講 届                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 各 授 業 担 当 教 官                   | 各学期授業開始日から1週間                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○受講を制限する場合がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 履修・受験届 提出                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 教 務 掛                           | 各学期授業開始後第2週目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○本年度前期は4月19日～4月25日<br>後期は10月21日～10月25日                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 履修・受験届 確認                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                 | 5月中旬, 11月中旬                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 追 試 験 願                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                 | 出願理由を証明する書類<br>原則として当該試験から3日以内                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 日本育英会奨学金<br>奨 学 生 募 集<br>資 格 確 認<br>各 種 奨 学 会 募 集<br>授 業 料 免 除 願 書 交 付<br>学 生 教 育 研 究<br>災 害 保 険 の 加 入 受 付<br>学 友 会 保 健 部<br>給 付 金 の 請 求<br>ア ル バ イ ト の 登 録<br>ア ル バ イ ト の 紹 介<br>通 学 証 明 書<br>学 割 証 書<br>在 学 証 明 書<br>学 生 証 再 交 付<br>定 期 試 験 受 験 証 明<br>現 住 所 変 更 届<br>保 証 人 変 更 届<br>本 籍 地 変 更 届<br>改 姓 ・ 改 名 届<br>休 学 願<br>復 学 願<br>退 学 願<br>海 外 渡 航 届<br>自 動 車 入 講 許 可 書<br>盗 難 届 | 学 生 掛                           | 4月中旬(1, 2年生1次)<br>9月中旬(1年生2次)<br>5月上旬(2年生) 11月上旬(1年生)<br><br>4～5月頃に集中<br><br>6月中旬(平成8年度後期分)<br>1月下旬(平成9年度前期分)<br><br>4月, 10月<br><br>領収明細書 学友会会員証 印鑑<br>6月下旬～翌年4月15日の随時<br><br>4月22日～7月10日<br>常時<br><br>学生証 即日交付<br>学生証 原則として即日交付<br>学生証 即日交付<br>学生証再発行願(写真添付), 印鑑<br>約1週間で交付<br><br>当該日ごとに交付<br><br>学生証<br><br>学生証<br><br>] 保証人が連署した願書<br>クラス指導教官の添書<br>病気の場合は診断書添付<br><br>保証人承諾書, 旅行計画書,<br>招へい状(写)<br>学生証, 免許証, 車検証 | ○地方自治体の奨学金は, それぞれの教育委員会に問い合わせること。<br><br>[ 手続の期間は変更されることがあるので, 掲示をよく見ておくこと。<br><br>○窓口の紹介簿で各自選択<br><br>○紛失・破損したら直ちに再交付を受けること。<br><br>○定期試験の時に学生証を忘れた場合<br><br>] ○変更したら直ちに届け出ること。<br><br>[ 願・届出・申込等の手続用紙は, 担当掛の窓口を用意されているので, 必要な時には請求すること。<br><br>○身障者・病弱者で自動車通学が必要と認められる場合に限る。<br>○必要に応じ, 警察署にも届け出ること |
| 教室使用願<br>亭々舎使用願                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 寮務・課外活動掛<br>共用施設窓口              | 使用日の10日前～前日の午前中<br>使用日の1月前～3日前                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 学生会館使用願<br>学内者のみの使用<br>学外者を含む場合                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 学生会館窓口                          | 学生証, 印鑑 4週間前～前日の午前中<br>学生証, 印鑑 4～1週間前                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 体育施設一般使用<br>運動用具短期貸出<br>登山用具貸出し                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 体育館窓口                           | 一般使用可能時間は窓口に掲示<br>学生証と引換え(土曜日を除く)<br>学生証, 印鑑                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○土曜日の体育施設使用は要予約<br>○体育館等で一時使用する場合<br>○1月前から予約可                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 九重山の家利用願                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 共用施設窓口                          | 利用日の2月前～15日前                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○1年前から予約可                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 九重共同研修所予約<br>利用申込                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                 | 1年前～2月前<br>2月前～15日前(要予約)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ○5人以上の団体であること。<br>申込書は共用施設事務室に常備している。                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 島原共同研修センター<br>予約・申込                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 箱崎地区<br>学生部学生課                  | 九重共同研修所とほぼ同じ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○学生課総務掛に問い合わせること。                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 下宿・間借の紹介<br>入寮申請<br>松原寮・女子寮                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 学 生 掛<br>箱 崎 地 区<br>学 生 部 厚 生 課 | 常時<br>9月, 2月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○窓口の紹介簿で各自選択<br>○申請書類の交付は六本松地区学生掛でも行う。                                                                                                                                                                                                                                                                |



六本松地区  
 建物 掲示板 自転車・バイク置場 案内図



六本松地区教職員異動

(省略)



## 表紙写真募集

編集委員会では、引き続き表紙を皆さんの作品で飾りたいと考えています。写真、絵画、いろいろな趣味をおもちの方、「作品」のカラー写真をご提供ください。また、周りにそのような方がいらっしゃいましたらお知らせください。早速編集委員がお訪ねします。

応募される方、推薦対象の方の範囲

- 九州大学生、卒業生、元在学生
- 全学共通教育に関わる教職員、非常勤講師、関係者
- 六本松地区の旧教職員

応募、推薦先

radix 編集委員 井上（農学部） 岡野（言文）  
 小山（大教セ） 高野（比文） 濱野（健康セ）  
 深江（専門員） 松村（言文） 吉田（健康セ）  
 または六本松地区企画掛（本館1階西側奥）

## トピックス・エピソード募集

六本松地区にまつわる話、関わる出来事などをお知らせください。編集委員が取材に参ります。また、投稿を歓迎します。応募先などは「表紙写真」と同様です。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| あ | と | が | き |
|---|---|---|---|

春爛漫、学生諸君においては、それぞれなりに志を抱いて新年度を迎えたであろう。そうした志を忘れずに、これからの大学生活を有意義におくって頂きたい。

今思えば、大学時代に radix のような大学広報に目を通すことは、全くといっていいほどなかった。専ら関心は、専門分野であるサッカーをめぐる、いわば自分の内側の事柄ばかりにあった。そのため、母校のごく限られた側面しか知ることなく卒業したといえる。もちろん、そうした内側においても、それなりに誇りとなる“宝もの”を得ることはできたと思う。だが、もっと自分の外側にも触れる機会があれば、他にも色々な“宝もの”を得ることが可能であったろう。ここ九大にも、各人の専門分野の内側に限らず、広範にわたって色々な“宝もの”があることはいうまでもない。

radix は、六本松地区の広報とはいえ、決してこの地区の案内に留まるものではない。各人の外側の事柄にも気付かせてくれるコミュニケーション誌である。その意味では色々な“宝もの”にも通じさせてくれよう。今回、これまで縁のなかった大学広報の編集に携わったが、radix にはこのような意義もあるように感じた。 (Y)

radix(ラーディクス) No.8 (九州大学全学共通教育広報)

発行日 平成8年3月29日

発行所 九州大学大学教育研究センター

〒810 福岡市中央区六本松4-2-1

電話 (092) 726-4525・4526 (企画掛)